

5/28 受け継がれる伝統
我如古サングワチャー(豊年祭)



地域の五穀豊穡と子孫繁栄を願う、我如古サングワチャー(豊年祭)が、旧暦の3月にあたる5月28日(日)に同公民館で開催されました。500年以上の歴史のある伝統の踊り「スンサーミー(市指定無形民俗文化財)」が、スンサーミー保存会の皆さんにより披露されました。また、同婦人会や老人クラブの皆さんによる余興が披露され、会場に華を添えました。

5/29 人材育成のために
沖縄科学AVセンター寄付金贈呈



株式会社沖縄科学AVセンター(前川和夫代表取締役)の皆さんが市役所を訪れました。同社は映像記録システムや、音響・照明設備等の整備・サポートを行っており、地域社会の発展に寄与されています。前川代表取締役は「人材育成のために使ってほしい」と佐喜真市長へ寄付金を贈呈しました。

5/30 宜野湾のスポーツ振興のために
体育協会役員来訪



平成29・30年度の市体育協会役員の皆さんが佐喜真市長、知念教育長を訪ね、就任のあいさつを行いました。会長の石川正信さんは「宜野湾市のスポーツ振興のために頑張っていきたい」と抱負を語りました。

5/25 サッカーU-15日本代表選出
野澤大志ブランドンさん



5月28日から6月6日まで行われたU-15日本代表ウズベキスタン遠征のメンバーに選出された、FC琉球U-15に所属の野澤大志ブランドンさん(宜野湾中3年)が佐喜真市長、知念教育長を訪ね、報告を行いました。身長189センチ、ゴールキーパーである野澤さんは「選出されたことは絶好のチャンス、自分がどれだけできるのか試したい」と意気込みを語りました。

5/25 両市の歴史や文化に触れる
京都市立下鴨中・普天間中交流会



修学旅行で来県した京都市立下鴨中学校の生徒会役員さんの皆さんが普天間中学校を訪れ、交流を行いました。下鴨中の生徒の皆さんは、平和学習、沖縄の文化について学ぶことを目的に来県しており、普天間中の生徒の皆さんと有意義な時間を過ごしました。交流会では、名刺交換に始まり、パワーポイントを使用しての地域紹介が行われ、両市の歴史や文化に触れました。

5/26 伝統芸能「若衆芸術祭」で知事賞受賞
上原快天さん



3月30日～4月1日まで行なわれた、琉球芸能の次世代育成を図る第1回おきなわ伝統芸能「若衆芸術祭」において「本散山節」を披露した、上原快天さん(はごろも小6年)が知事賞を受賞し、佐喜真市長へ受賞の報告を行いました。上原さんは「一生懸命練習して、将来は人間国宝になりたい」と今後の抱負を語りました。

5/20 熱血指導で全国大会に導く
石川正信先生、ありがとう



今年の3月で定年退職を迎えた石川正信さんの退職・激励会が行われました。同会は、石川さんが真志喜中学校に赴任し、1981年から87年までバスケットボール部顧問を務めた時の教え子の皆さんによるサプライズで、当日は約70人が掛け付けました。還暦を祝い、赤いちゃんちゃんこの代わりに赤いユニホームが贈られ、石川さんの顔からは笑顔が溢れました。

5/22 中部管内8市町村間相互併任辞令交付式
徴収能力向上に向けて



県中部合同庁舎にて、中部管内8市町村の税務徴収職員へ相互併任辞令交付が行われました。今回の取り組みは、各市町村の税務徴収職員の人事交流により、徴収率、総合的な徴収能力向上に向け、ヒト・モノ・情報の相互補強、搜索技術等の維持向上と中部管内の納税意識の高まりを図るために行われます。

5/24 初の作品展開催
水彩画サークル月桃の会 作品展



5月22日～5月26日までの5日間、赤道老人福祉センターロビー内において、水彩画サークル月桃の会(安村廣俊会長)の皆さんが作品展を開催しました。同サークルは平成27年10月にサークルを結成し、今回が初めての作品展開催となります。講師の知念盛一さんは「会員が一生懸命描いた作品。今後も作品展を開けるよう活動を続けていきたい」と語りました。

4/23 平和の尊さを学ぶ
6/2 京都の学生、嘉数高台を訪れる



4月23日(日)に京都市立桃山中学校が、6月2日(金)に京都市立嘉楽中学校が修学旅行で嘉数高台を訪れ、平和学習を行いました。嘉数高台には京都の塔があり、京都出身の戦没者が多く祀られています。戦争経験者による戦争体験の話聞いて、生徒たちは改めて平和の尊さを感じていました。

5/16 温かいご支援ありがとうございます
育英会感謝状授与式



平成29年度育英会総会において、平成28年度宜野湾市育英会における寄付者への感謝状贈呈式が行われました。(写真前列左から、御寄付者の花城敏子様、中曽根昌一様、伊佐裕様(母應子様の代理者)。他にも個人や企業、各方面からの御寄付がありました。)本市育英会では、このように皆さまの温かいご厚意によって支えられています。あらためて心より厚く御礼を申し上げます。

5/17 約9ヵ月ぶりの開催
第7回普天間飛行場負担軽減推進作業部会



作業部会が約9ヵ月ぶりに開かれ、本市からは松川副市長が出席しました。松川副市長は、返還合意から21年が経過した今なお、夜間飛行の常態化など、市民の抱える負担はすでに限界を超えている現状を伝え、改善を強く訴えました。また、普天間飛行場の5年以内の運用停止をはじめとする基地負担軽減の実現に向け、推進会議および作業部会の継続的な開催を併せて要請しました。